

2014年度の環境目標・活動実績と2015年度以降の環境目標

2014年度の環境目標・活動実績

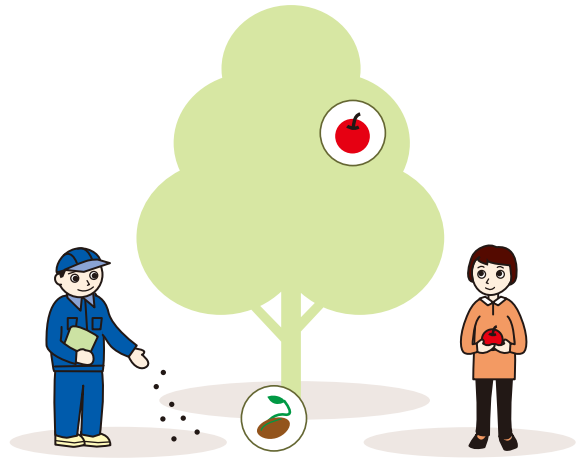
2014年度環境行動指針		重点項目	活動項目	2014年度目標	2014年度活動実績	評価*
オカムラグループ目標	エコの種	1.ものづくりでの環境保全活動	1-1 地球温暖化防止対策	省エネ法対応と管理体制の維持 エネルギー生産性向上 2013年度比1.0%向上 生産系〔社内完成高あたり前年比1.0%のエネルギー消費原単位低減〕 オフィス系〔総人員あたり前年比1.0%のエネルギー消費原単位低減〕	省エネ法対応と管理体制の維持 エネルギー生産性 2013年度比 4.8%向上 生産系 775,757GJ、 4.7%向上 オフィス系 106,401GJ、 5.0%向上	A
			1-2 廃棄物対策	物流効率向上による温室効果ガス削減 前年度比1.0%向上	物流効率向上による温室効果ガス削減 前年度比1.5%向上	A
				廃棄物処理量管理 リデュース実績集計	廃棄物処理量管理 リデュース実績集計実施	A
				廃棄物マニュアルの改訂と運用確認(配送・施工・営業部門)	廃棄物マニュアル運用による配送・施工・営業部門での管理実施	A
				収集運搬・中間処理事業者評価の実施とグループ別評価結果のまとめ	収集運搬・中間処理事業者評価の実施とグループ別評価結果のまとめ	A
			1-3 グリーン購入・省資源	ゼロエミッションの継続と配送部門のリサイクル率向上	ゼロエミッションの継続と配送部門のリサイクル率0.5%向上	A
オカムラ目標	エコの種	2.社会に広げる環境活動	2-1 環境情報開示と双方向コミュニケーションの充実	CSRコミュニケーションの改善	CSRコミュニケーションの改善活動実施	A
				環境データーシートの拡充	環境データーシートの追加整備実施	A
			2-2 社会貢献活動の推進	ACORN活動の拡大・活性化	ACORN活動の拡大・活性化	A
				小学校への環境出張授業実施	小学校で環境出張授業の実施(3校340名)	A
		3.ものづくりでの環境保全活動	3-1 製品開発における環境配慮型企画と設計	製品開発率の維持管理(GW・GW+管理数値の維持向上)	企画時適用率達成	A
				アセスメント管理規定の運用検証 各工区(信頼性確認)	EMS内部監査による運用検証	A
				規制変更や環境リスクの把握と対応	規制変更や環境リスクの把握と対応を実施	A
				主要製品のグローバル規格対応	各工区主要製品のグローバル規格対応を実施	A
			3-2 環境配慮型製品・サービスの提供	環境配慮製品の評価見直しと販売比率の向上(GW、GW+)	環境配慮製品の評価基準作成と販売比率の向上(GW、GW+)	B
				合法木材調査のフォローアップ	事業者認定維持運用	A
				オフィス・店舗の環境提案率の向上	オフィス・店舗の環境提案率の向上	A
				目標 オフィス45.0% ストア79.0%	実績 オフィス47.0% ストア84.3%	
	エコの実					

\*評価基準：  
定量目標  
A：達成率100%以上  
B：達成率90%以上100%未満  
C：達成率90%未満  
定性目標の達成度は、別途定めた評価基準により判断しています。

オカムラ エコ物語

～エコの種を育てて、お客様にエコの実を～

オカムラグループ環境方針は、オカムラグループがー丸となって環境活動を実践して「エコの種」を育て、環境活動を通じて生み出された製品やサービス、すなわち「エコの実」をお客様に提供することで、持続可能な社会づくりに貢献する、という事業の展開のあり方を定めています。



オカムラの実践「エコの種」

「エコの種」とは、以下のような、お客様の目に見えない部分での努力のことです。

- ・素材の使用
- ・生産方法
- ・輸送や梱包

オカムラの提案「エコの実」

「エコの実」とは、お客様にとって次のようなメリットが多く詰まった製品・サービスのことです。

- ・使用するとき多くのエネルギーを使わない製品・サービス
- ・ムダなスペースの少ない空間や高機能で居心地のよい空間づくり
- ・有害な化学物質を排除した製品
- ・高い転用性と耐久性で長期にわたり使える製品

2015年度以降の環境目標

環境方針からの項目		活動目的		2015年度目標		2017年度目標	
エコの種	1.ものづくりでの環境保全活動	1-1 地球温暖化防止対策の推進 エネルギー生産性 毎年1%向上		省エネ法対応と管理体制の維持 エネルギー生産性向上 前年度比1%向上 生産系〔社内完成高あたり前年比1%のエネルギー消費原単位低減〕 オフィス系〔総人員あたり前年比1%のエネルギー消費原単位低減〕 生産系サイト 省エネ計画の立案と実績把握 オフィス系サイト 人員とレイアウトの確認	省エネ法対応と管理体制の維持 エネルギー生産性向上 前年度比1%向上(2014年度比3%向上) 生産系〔社内完成高あたり前年比1%のエネルギー消費原単位低減〕 オフィス系〔総人員あたり前年比1%のエネルギー消費原単位低減〕 生産系サイト 省エネ計画の実施と実績把握 オフィス系サイト 人員とレイアウトの確認		
				物流における温暖化防止対策 物流効率向上によるCO <sub>2</sub> 削減 前年比1%向上	物流における温暖化防止対策 物流効率向上によるCO <sub>2</sub> 削減 前年比1%向上 (2014年度比3%向上)		
				廃棄物処理コストとリサイクル率の把握と改善	廃棄物処理コストとリサイクル率の把握と改善		
				収集運搬・中間処理事業者評価のリサイクル項目改善	新基準による処理事業者評価の把握と効果まとめ		
				ゼロエミッションの継続と配送部門のリサイクル率向上	ゼロエミッションの継続と対象範囲の拡大		
				社内完成高あたり 前年度比1%のPRTR排出・移動量原単位低減	社内完成高あたり 2014年度比3%のPRTR排出・移動量原単位低減		
				製品開発率の向上(GW・GW+開発製品管理)	製品開発率の向上(GW・GW+開発製品管理)		
				主要製品の技術情報整備 グローバル規格対応	技術情報整備 グローバル規格対応製品の拡充		
				アセスメント管理規定の適応状況検証	アセスメント管理規定の運用評価		
				ACORN活動の拡大・活性化	ACORN活動の拡大・活性化		
エコの実	2.社会に広げる環境活動	2-1 社会貢献活動の推進 ACORN活動と学校教育へ注力		小中学校出張講座・大学インターンシップ教育の運用と改善	小中学校出張講座・大学インターンシップ教育の運用と改善		
				環境配慮製品の販売比率とオフィス・店舗の環境提案率の向上	環境配慮製品の販売比率とオフィス・店舗の環境提案率の向上		
				販売製品の環境負荷把握 SCOPE3の精度向上	販売製品の環境負荷低減の評価		
				JOIFA 事業者認定制度 更新対応 木材合法調査実施	合法木材調査のフォローアップ		
				製品情報開示の改善(改善モデル作成)	製品情報開示の改善(成果の確認)		